

# 令和7年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：26023

学校名：澄川南小学校

令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果		分析
体力・運動能力 <男子>	○前回の記録と同程度もしくは上回った種目なし  ○前回の記録より下回った種目 握力・上体起こし・長座体前屈・反復横跳び・20mシャトルラン・50m走・立ち幅跳び・ソフトボール投げ	○コロナ禍時に低学年であったこの学年は、体を動かすべき時期に運動を制限されていたため緩和されても積極的に体を動かそうと思う児童が少ないことと、校内での運動量があまり多くない傾向にある。しかし、元々運動やスポーツが好きであることや、体育の授業に積極的に参加していることを踏まえると、まだまだ改善の余地があると考え、1年間で体力を向上させ、中学校に繋げたい。
体力・運動能力 <女子>	○前回の記録と同程度もしくは上回った種目なし  ○前回の記録より下回った種目 握力・上体起こし・長座体前屈・反復横跳び・20mシャトルラン・50m走・立ち幅跳び・ソフトボール投げ	○女子は、男子と同様、休み時間に積極的に体を動かす児童が少なく、体育の授業が楽しいと答える児童が男子に比べて少ない。しかし、ボール投げや鬼遊びなどの運動は苦手であっても、運動会の表現の練習などは積極的に楽しく参加していることから、目標を設定し、楽しみながら運動に向かわせる意識づけが重要と思われる。
運動・スポーツへの意識、運動習慣	「運動やスポーツをすることが好き・やや好き」と回答する児童の割合 R5 男子:100% 女子:97.1% R6 男子:90% 女子:80.5% 「体育の授業は楽しいか(楽しい・やや楽しい)」と回答する児童の割合 R5 男子:100% 女子:97% R6 男子:100% 女子:84.6%	○一昨年ほどではないものの、依然として男女ともに運動やスポーツが好き、体育の授業も楽しく参加しているということが分かる。しかし、授業を除く1週間の総運動時間が60分未満の子どもが増加したことから、体力・運動能力の向上に向けて、身に付ける技能を意識し、運動量を保障した授業を行うことで興味・関心をもたせ、技能体力も高めていく。

三つの取組	①体育・保健体育等の授業の充実	②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組	③子どもが自ら健康の保持増進を図る取組
-------	-----------------	-----------------------	---------------------

<b>具体的な取組</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○運動の楽しさに触れることを重視し、「課題探究的な学習」推進のため、研究部主体となって職員研修の場を設ける。昨年度は、ラグビー、ダブルダッチ研修を実施。</li> <li>○タブレット端末を使って、活動を可視化したり、記録したりすることで、自分の課題を再認識し、集団としての関わりや個人の技能を高めて、できるようになることの喜びにつなげていく。</li> <li>○子どもがやってみたいと思える場をつくりだし、新体力テストを事前に試す場を積極的に設ける。</li> <li>○リズム縄跳びや縄跳び記録カードの活用など、学年の発達段階に合わせた縄跳び運動を継続的に行うことで体力を高めていく。</li> <li>○オリンピック・パラリンピックの理念に触れながら、スポーツの意義や価値に触れ、オリンピックの話の聞いたり、体験的な学習をしたりして、ふるさと札幌における学びを充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中休みや昼休みは全員外で遊ぶことを基本とし、担任が率先して運動していくことに取り組む。多様な遊びの場と機会を創り出すことで、体を動かすことの楽しさをどの子ども味わうことができるようにする。</li> <li>○中休みや昼休みにグラウンドの割り当てがなくても運動できるよう、グラウンド以外の場所も活用し、縄跳びやダンスなどに取り組む。</li> <li>○一昨年度追加購入した一輪車に加え、昨年度購入したソフトスポンジボールなどを使用して、より多くの子どもが自然に運動に慣れ親しむ運動環境を整えていく。</li> <li>○児童委員会が中心となって、体を動かす集会やレクリエーション活動を企画し、縦の繋がりも大切にしながら運動機会を創出する。</li> <li>○マット・跳び箱週間を設け、中休みや昼休みに自発的に練習できる環境を整備する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全学年にジェンダー教育の場を設け、養護教諭と担任が一体となって個性を尊重する心を育てる。</li> <li>○心と体を育む学習として、養護教諭と担任が一体となって6年間を通して学びをつなぎ、自他を大切に、たくましく生きる力を育む。</li> <li>○教科と結び付けての6年生の「薬物乱用防止教室」を実施する。</li> <li>○外部講師を招いて、札幌らしい「がん教育」の推進を図る。</li> <li>○栄養教諭とのITによる「食に関する指導」を通して学年別の年間計画のもと、健康の大切さを指導していく。</li> <li>○タブレット端末を活用する際には、決められた時間、場所で先生の指示があった時に使用する。また家に持ち帰った際には、家の人と使用する時間など、ルールを決めて取り組むようにする。</li> </ul>
---------------	--	--	--

<b>家庭・地域との連携・協働</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○レバンガ北海道やエスポラーダ、コンサドーレ札幌などのプロチームを招いての指導を受け、子どもの「健やかな体」育成の充実をはかる。</li> <li>○ラグビー教師向け講座の実施。</li> </ul>
---------------------	---